



たすけあいセンター ジュントス JUNTOS! 通信

JUNTOSは
ポルトガル語で
“いっしょに”

日本語版

2019.4.11 発行 第26号

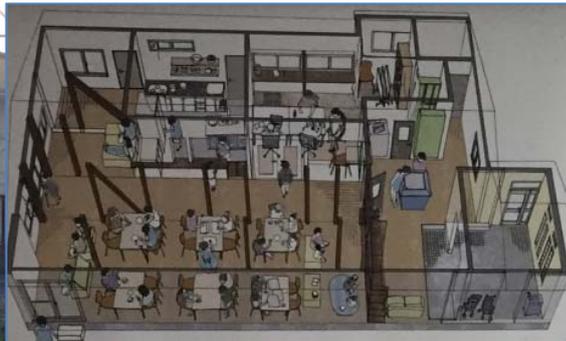


もり・はしプロジェクト(森下町と橋本町の地域再生)の取り組み

2年かかりましたが、旧片野医院の土地を2千万円で購入できました。診療所と母屋の改修費(約3千万円)のうち3分の2の補助も決定しました。旧診療所は夏にはコミュニティレストランと学習スペースに生まれ変わります。あと1千万円で、「えんがわハウス」は完成します。昨年開所した多文化保育「はじめのいっぽ保育園」も1周年を迎え、市の認可が得られるよう取り組んでいます。空き家を多世代多文化交流拠点として再生し、外国とつながる子どもたちの未来を拓くことは常総の復興に繋がります。そのために私たちは1千万円の寄付達成と保育園の早期認可に向けてチャレンジを続けます。ぜひこの取り組みにご参加、応援をお願いします。



4年連続で来られた白鷗大の皆さん



東京芸大の学生さんが描いた診療所改修図



母屋の活用・改修も進めます



はじめのいっぽ保育園の子どもたち



学童の子と地域の皆さん



「なかよし」の塚越代表(前列右)を囲んで



保育園の保護者の皆さん



水海道ロータリークラブの皆さん

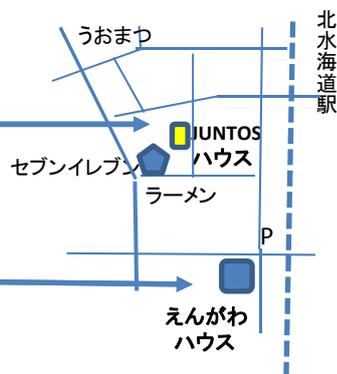


母屋で開かれた食事会の様子



もりはしプロジェクトとは、2015年の鬼怒川洪水の時、3日間水に浸かり、住宅被害が大きかった森下町と橋本町での、空き家を活用したコミュニティ再生の取り組みです。

最初に改修し、2016年春に開所した森下町のjuntosハウスは、子どもたちの学習の場や障がいのある子の放課後デイサービスの場として活用したり、時にはアパートを追われた人のシェルターとしても活用してきました。2019年度からは、常総に泊まりたい人のゲストハウスとして新たな交流拠点になります。



左から母屋、住宅棟、旧診療所

2つ目に再生に取り組んできたのが、森下と橋本の境界に面した旧片野医院と住宅2棟です。医院は水害前日まで週1回開かれていましたが、水害後は閉鎖され、お医者様も亡くなられたため、空き家になっていました。2016年秋に、ご家族の方と会い地域の復興の要となる場として再生させて欲しいとお話し、ボランティアによる改修がスタート。

これまで、パルシステム茨城栃木の方々、栃木県の白鷗大の学生さん、国際ボランティアのNICEの方たちがボランティアで作業をしてくださいました。商船三井さんは新入社員研修で毎年来られます。そのおかげもあって、住宅棟は、家庭的な保育の場に生まれ変わりました。はじめの一步保育園は4月で開園1周年を迎えました。(詳しくは5頁)



白鷗大学の皆さん



商船三井の皆さん



NICEの皆さん

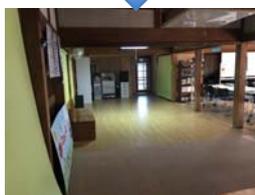


パルシステム茨城栃木の皆んの手で片付けたリビングが保育室に

母屋も昨年、仮の床と壁を張って使えるようにしました。ヨガ教室や食事会も時々行われるようになりました。荷物が沢山あった2階もスッキリ片付き、平日は学童保育、土曜は補習教室が行われています。この地域に多く暮らすブラジルなどから来た外国籍の子どもの保育と学習支援が毎日行われるようになりました。そこには市内の高校の生徒や筑波大生などが学習支援に来てくれています。



広い庭に面したえんがわがあることから、私たちは「えんがわハウス」とこの建物を名付けました。えんがわハウスは、保育や子どもの居場所を作ることが主目的ではありません。多世代、そして多文化が交流する、みんなの居場所を作り、互いに助け合ったり、教えあったりする活動の拠点とするのが本来の目的です。



母屋1階は多目的室、2階は学童ルームに

そこで主役である地域の方々にえんがわハウスのことを知っていただき、活動のアイデアをいただく為に、幾つかの催しを行ってきました。それが右にある、落語会、クリスマス会、餅つきです。



楽麻呂さんの落語



クリスマス会



餅つき

このように、徐々に場を使えるようになってきたことで活動が始まりましたが、本格的な改修には費用がかかります。そこで、ジュントス常総復興まちづくり株式会社を2017年秋に設立し、国土交通省の補助事業に応募したところ、企画が採択されました。ただ実際の補助金を得るためには、建築基準に関する調査、図面や工事見積りの作成、銀行の融資を得るなど、様々なことをする必要がありました。最大の課題は土地を購入することでしたが、何としてもプロジェクトを成功させるべく、今年2月について土地を購入し、同月、国の改修費の補助も決定しました。



えんがわハウスの改修計画と活動アイデア

えんがわハウスは北から旧診療所、住宅、母家、庭がつながっています。

真ん中の住宅は1年前に改修が終り、「はじめのいっぽ保育園」として活用されています。その南にある母家は最低限必要な改修が行われ、2階で学童保育、1階ではヨガ教室、交流イベント、会議場、宴会などで活用されています。

旧診療所は、気軽に立ち寄れるコミュニティレストラン、ギャラリー、ホール、学習室のある建物として生まれ変わります。東京芸大で建築を学ぶ学生さんが住民の声をききながら設計してくれました。

この新たな場所で何をするかについては、これまでの話し合いで下記にあるような活動アイデアがだされています。

これらを実体化するには場の運営を担うチームが必要になります。そこで1月に、地域の皆さん6名で先進地視察を行いました。日立市のパルシステムの日立館では、料理教室や子育てサロンが住民により活発に行われています。

ひたちなか市にある「くらし協同館なかよし」は、閉店した生協の店舗を住民が自主運営する形で再開した場で、食材の提供のほか、多種多様な趣味講座や子育て支援を行っています。

いずれの場も世代を超えて人が集い、食文化をつたえたり、趣味講座や健康づくり、を自分たちで考え楽しそうに運営していました。



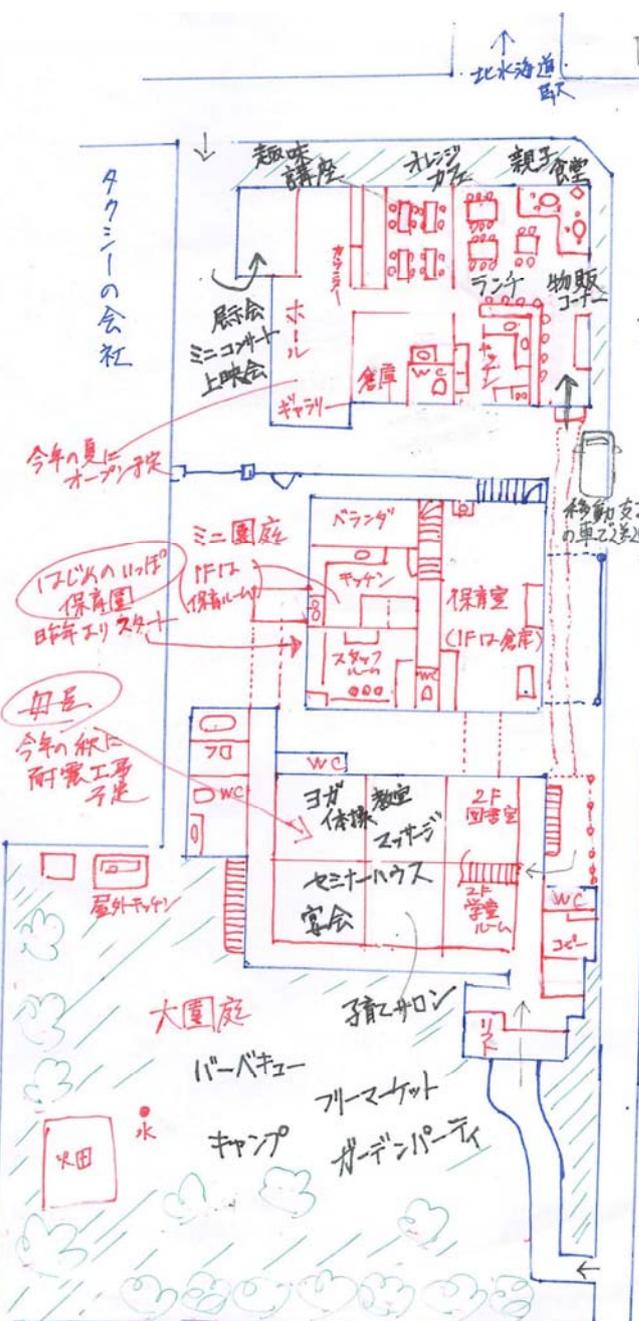
診療所改修模型をみて、壁は何色がいい？



パルシステムの日立館を視察



「くらし協同館なかよし」を視察



1月27日には「くらし協同館なかよし」の塚越代表に、えんがわハウスにきていただき、どのように「なかよし」を立ち上げ、運営してきたかがいきました。歩いて買物に行ける場をどうしても残したいと思う住民が集い、それぞれできることをできるときにするという方針で100名近い有償ボランティアが惣菜づくり、物販など8つの班にわかれて活動しているそうです。公民館かと思うくらい多種多様な教室が毎日開かれ、みなが持ち寄る参加費の一部と物販の販売手数料などで補助金なしで運営しています。光熱費や設備の費用をどうするかなど、課題に直面しつつも、みなで知恵を出して克服しているとのこと。まさに住民による住民のための活動であり、みんなの居場所だと感じました。実際にその場を見て話もきいたことで、「自分たちでもできるかも」という声がかえったのが大きな成果でした。これから診療所の改修が終わる夏までに、運営にかかわっていただく方を広く募っていきます。下記表にある活動のどれかをやってみたい、という方はぜひ連絡してください。ジュントス横田 090-8854-0831 森下町の染谷さん 090-1836-9444 橋本町の中根さん 0297-22-1590

班	調理	物販	ギャラリー ホール	趣味	健康	お出かけ	交流	子育て 支援
活動案	ランチ、 喫茶、 パーティ お弁当	委託販売、 リサイクル、 中古品の 売買代行	展示会、 コンサート、 映画上映会、 落語会	各種習い事、 花壇づくり、 音楽、朗読 健康麻雀	体操、ヨガ、 マッサージ 健康相談、 介護相談	通院や買 い物支援、 県外視察、 旅行企画	外国語や 料理の教 室、季節の 行事	サロン、 保育園や 学童の子 との交流

えんがわハウス（母家）とjuntosハウスをご活用ください

目的	内容
<p>えんがわハウス 母屋の貸出</p> <p>地域の教室 〇〇サロン、 視察研修、 団体合宿、 イベント会場、 懇親会場 として</p>	 <p>母屋の1階の8畳4区画を貸し出します。1区画1時間500円(主催が常総市民の場合は半額) 会議・セミナーは2区画(16畳)で20名程度、4区画(32畳)で40名程度収容できます。机、椅子、ホワイトボード、プロジェクターの貸し出し可、エアコンあり。10~24名程度で懇親会をセットすることもできます。(値段は応相談) 空き家修復などのボランティア体験、常総の災害復興に関する研修も受け入れ可能です。さらに、庭を使ったバーベキュー、キャンプなどのイベントも行えます。平日日中は駐車台数に限りがあります。平日夜間と土日は20台まで駐車できます。</p>
<p>宿泊は juntosハウス (準備中)</p>	 <p>北水海道駅から徒歩4分。ボランティアが改修した民家なので、共用ですがお風呂と広い台所もあり、自宅のように過ごせます。隣がコンビニで飲食店も隣接。計10名まで宿泊可能です。料金などは準備が整い次第webに掲載します。まずはお問い合わせください。希望により、持ち寄り式での懇親会も可。世界の料理や防災食も体験できます。</p>

移動支援ボランティア講習会

ジュントス移動支援チームでは時間のある時に通院などの送迎を担っていただく方を募集中です。
2019年5月12日(日)に生涯学習センターで、ボランティア送迎講習会を行います。ご参加お待ちしております。

えんがわハウスと一緒に活動しませんか

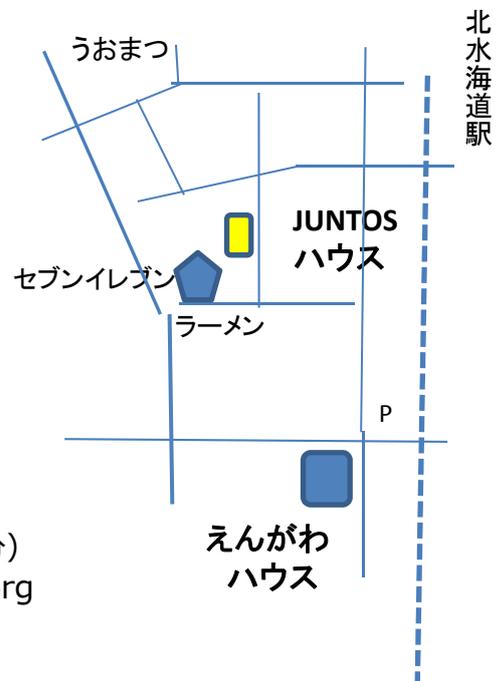
これまでの仕事の経験や趣味や特技を、えんがわハウスで生かしてみませんか。
 料理作り、日曜大工、花壇作り、子どもの見守りや本の読み聞かせ、宿題を見てあげる、趣味講座など、できるときにできることでぜひ関わってください。送迎が必要な方も相談に乗りますので。

常総オリジナル防災セット販売中



ベーシックセット 1万円(税別)
最低限の用具の詰め合わせ 手回しラジオ、卓上ライト、ロウソク、防塵マスク、給水パック、笛、携帯トイレ、家庭用災害トイレ、カイロ、アルミシート、衛生セット、スリッパ、収納ケース
フルセット 2万円(税別)
厳選品の詰め合わせ 上記セットと防災トイレ増量分に加えて、太陽光式ライト、携帯充電器、エアベット、ヘッドライト、家の損害を記録するための使い切りカメラなどあると役立つものを満載

防災セットのお問い合わせはいんくるまで tel:0297-38-5028



発行：たすけあいセンター「JUNTOS」事務所移転しました

(運営：認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ)

〒303-0005 常総市水海道橋本町3571 (北水海道駅より徒歩10分)

ウェブ：www.juntos-joso.org eメール juntos@npocommons.org

☎：0297-44-4281 FAX：0297-44-4291

時間：午前10時～午後4時半 (日曜・祭日は定休日)